

東日本大震災後の電力不足及び放射能拡散が首都圏・京阪神圏在住成人の
身体活動に与えた影響に関する意識調査
Consciousness survey on the impact of electronic power saving and radioactivity
dispersing after The Great East Japan Earthquake on metropolitan area and
Keihanshin area cities of adults physical activity

荒木邦子¹⁾, 原田和弘²⁾¹⁾, 塩田琴美¹⁾, 中村好男¹⁾

¹⁾早稲田大学スポーツ科学学術院

²⁾日本学術振興会

キーワード: 東日本大震災, 環境情報認知, 電力不足, 放射能拡散, 身体活動
Keywords: The Great East Japan Earthquake, environmental information recognition,
power shortage, radioactivity dispersing, physical activity

抄 録

目的:本研究は、電力不足及び放射能拡散が、身体活動にどのような影響を及ぼしたかを検証するために、その影響に差異を有する首都圏と京阪神圏の居住者間の比較を行うことを目的とした。

方法:関東・京阪神圏の20～79歳の2,400名を対象とし、電力不足および放射能拡散の身体活動への影響の有無(4件法)、「歩く時間」、「階段の昇り降りや自転車に乗る機会」、「自宅や職場での身体活動」の増減(4件法)についてWeb調査を実施した。身体活動への影響の有無と地域差を χ^2 検定により検討した。

結果:電力不足の影響では、「歩く時間」、「階段昇降や自転車乗車機会」、「自宅や職場での身体活動時間」の3項目全てで、首都圏で「増えた」と回答した人の割合が高く有意な差があった。放射能拡散の影響では、3項目ともに両圏域で減少していたが、両圏域ともに増減率に大きな差はなかった。

結論:電力不足という環境変化は、人々の日常身体活動を促進する可能性があるが、放射能拡散の影響については確証的な結論は導けなかった。

スポーツ科学研究, 9, 332-337, 2012年, 受付日:2012年5月7日, 受理日:2012年10月24日

連絡先: 荒木邦子 早稲田大学スポーツ科学学術院中村好男研究室

〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島 2-579-15 TEL&FAX:04-2947-6829 E-mail: k-araki@aoni.waseda.jp